

1990 年代に本邦で内視鏡外科が導入されて以来、さまざまな疾患に対して内視鏡外科手術が行われるようになってきた。本号には「内視鏡外科手術に関するアンケート調査—第 9 回集計結果報告」が掲載されているが、実施件数の増加は本手術が標準手術のひとつとして認識されつつあることを意味している。このように内視鏡外科手術が普及していく過程で、外科系の医師が開胸や開腹などの従来の手術に加えて内視鏡外科手術を習得するために、さまざまな方法が採用されてきた。特に、内視鏡下手術ではビデオ画像が残るため、われわれはそれを教材として講習会で説明を受けたり、自習することが可能である。

私は、専門家の講義や全身麻酔下のブタを用いた実習から構成される食道疾患の内視鏡下手術講習会のお手伝いをしている。当然のことながら、基本的な手術手技の修練には動物実習は優れているが、ブタとヒトでは細かい解剖が異なるため、ヒトの場合には癌手術に不可欠なリンパ節郭清などの手技や、術野展開法などに工夫がいる。参加した先生からは、実技講習会は確かに役に立つが、手術室で実際に手術見学をしたり、指導者による直接指導を希望したいという感想をいただいている。いわゆるハイテク教育環境が整っても、最後は人と人が近距離で手術を指導すること、すなわち直接的なコミュニケーションが一番求められている。それは感動を伝えられるからである。

本誌への投稿原稿を拝見すると、内視鏡外科特有の工夫、稀少性のある症例、多数例の内視鏡外科手術症例の解析など、どれも興味深い内容ばかりである。定期的に送られてくる原稿をわくわくしながら査読しているが、なるべく多くの論文が掲載されるように骨を折っている。多くの読者は掲載された論文に接して、新しい知見に出会い、喜んだり、悔しがったり、時に異論を抱いたりする。誌面に繰り上げられる著者らの努力がわれわれに感動を与えてくれる。

手術手技の伝承や指導も、論文の執筆も人に感動を与えると上手くいくようである。膨大な仕事に追われ、行き過ぎた医療訴訟に配慮せざるを得ない外科系医師の環境が時として色あせることもあるが、「感動」する心の余裕を少しでも持つことにより、われわれの環境がさらに魅力あるものになることを期待したい。

(小澤壯治)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 13 巻 第 5 号) 2008 年 10 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%) となります。

2008 年 年々め予約購読料：17,160 円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当：佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2008, Printed in Japan

発 売：株医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：阿部、田村、中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (南文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

『先端医療機器と内視鏡外科手術』

最新の内視鏡治療機器：NOTES への応用	池田圭一・他	東京慈恵会医科大学内視鏡科
最先端ナビゲーションによる内視鏡外科手術：NOTES		
—wireless motion 追従ナビゲーションと		
OsiriX virtual image overlay の有用性	杉本真樹・他	帝京大学ちば総合医療センター外科
リアルタイムナビゲーションシステムの開発と		
腹腔鏡下手術における有用性	小西晃造	九州大学大学院次世代低侵襲治療学講座
NOTES における遠隔操作型広角 CCD カメラポッドの有用性		
	大平 猛・他	自治医科大学救急医学
新しいメカニズムの多自由度鉗子 Radius Surgical System		
を用いた内視鏡外科手術	稲木紀幸	石川県立中央病院一般・消化器外科
一体型マスタ・スレーブ・マニピレータと		
ハプティクス鉗子の開発	小澤壮治・他	藤田保健衛生大学坂種報徳病院外科
非接触硬さセンサの内視鏡外科手術における応用	川原知洋・他	広島大学大学院内視鏡外科
新しい HIF CZ 901 の開発と内視鏡外科手術への応用	板橋 明	くぼじまクリニック
●連載		
内視鏡外科手術室訪問（第 2 回）	森 俊幸・他	杏林大学外科
●2008 年第 13 巻総目次		
他に「原著」「症例報告」「手術手技」を掲載予定		